

令和元年度

決算報告書

第6期事業年度

自 平成31年 4月 1日

至 令和2年 3月31日

公立大学法人長岡造形大学

令和元年度 決算報告書

公立大学法人 長岡造形大学

(単位：千円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	865,334	861,833	△ 3,501	(注1)
自己収入	709,324	722,457	13,133	
授業料及び入学金検定料収入	672,964	692,109	19,145	(注2)
雑収入	36,360	30,348	△ 6,011	(注3)
受託研究等収入	4,000	4,724	724	
寄附金収入	0	1,600	1,600	
承継資金財源	222,561	74,595	△ 147,965	(注4)
計	1,801,219	1,665,211	△ 136,007	
支出				
業務費	1,613,970	1,508,298	△ 105,671	
教育研究経費	522,794	476,447	△ 46,346	(注5)
人件費	1,091,176	1,031,850	△ 59,325	(注6)
一般管理費	183,249	162,532	△ 20,716	(注7)
受託研究費等	4,000	2,690	△ 1,309	
計	1,801,219	1,673,521	△ 127,697	

○ 表示単位について

表中の金額は、千円未満を切り捨てて表示しています。

○ 予算額と決算額の差異について

(注1) 算出基礎となる基準財政需要額算定単価が減少したことによるもの

(注2) 学生数、志願者数が見込みより増加したことによるもの

(注3) 令和2年度市民工房前期分講座中止に伴い前受金が減少したことによるもの

(注4) 業務費及び一般管理費の決算額が減少したことによるもの

(注5) 入札及び見積り合わせによる契約額の減少、光熱水費の減少等によるもの

(注6) 時間外勤務手当の減少、退職給付算定額の減少等によるもの

(注7) 予備費の未執行、入札及び見積り合わせによる契約額の減少、光熱水費の減少等によるもの

○ 予算額と決算額の集計区分の差異について

教育研究経費として予算計上した授業補助・研究補助にかかるアルバイト賃金を、決算では人件費に計上しています。